

6

JUN/2016/Vol.135

広報 東峰 TOHO

URL : <http://vill.toho-info.com>

●紫陽花 (アジサイ)
於：棚田親水公園

目次

- 2p / 4p ニュース&トピックス
- 5p 保健師からのお知らせ
- 6p / 7p 公民館ひろば
- 8p 地域おこし協力隊活動日誌
- 9p / 11p 役場からのお知らせ
- 12p / 17p 暮らし情報
- 18p / 19p 村の行事、在宅医表、村長 NAVI
- 20p フォトギャラリー

福岡県東峰村

毎月 15 日発行



Toho News & Topics

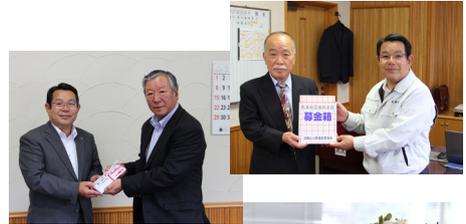
村のニュース&トピックス

熊本地震復興支援

■義援金を送りました

役場宝珠山庁舎・小石原庁舎の窓口に設置した義援金箱に投函いただいたものや直接お受け取りしたもの等、皆様からお預かりした熊本地震復興支援義援金（総額 309,735 円）は、5 月 23 日に日本赤十字社へ送金させていただきます。

また、人的支援として 5 月 9 日～ 12 日まで、建物被害状況調査のため、役場職員 1 名を熊本県益城町へ派遣しました。



いぶき館から筑前岩屋駅まで

■自衛官候補生課程徒步行進訓練

5 月 11 日（水）に陸上自衛隊小郡駐屯地の自衛官候補生約 40 名による行進訓練が宝珠山地区で実施されました。いぶき館から筑前岩屋駅までの往復約 10km のコースを、重さ 20kg の携行品を装備して、勇敢に行進していました。

自衛隊は自然災害の発生時には、村と連携し様々な支援活動を行っていただくため、今回もその活動の一貫として取り組んでいるものです。

沿道の皆さん、ご協力をありがとうございました。



▲訓練の様子

機能別団員制度の取り組みが評価されました

■消防団加入に係る消防団表彰

5 月 20 日（金）に消防会館（福岡市）で開催された団長総会において、県消防協会より「特別表彰」を東峰村消防団が受賞しました。これは、平成 27 年 10 月に導入した機能別団員制度（OB 団員 42 名）の取り組みについての評価をいただいたものです。

「自分たちの地域は、自分たちで守る」を合い言葉に、消防団活動に対する地域や皆様のご理解とご協力を引き続きよろしくお願いします。



▲表彰の様子

■香港陶芸家表敬訪問

5月23日（月）、香港の陶芸家の先生と生徒18名が村長を表敬訪問されました。一行は、ほうしゅ楽舎に4泊され、滞在中、小石原焼や高取焼の見学や体験等をされました。

インバウンド（訪日外国人旅行）に対する関心が高まるなか、東峰村でも焼物や農産物等を通じて交流が深まっていくことでしよう。



▲村の概要を説明する村長

福岡に集結

■「日本で最も美しい村」連合定期総会

5月26日（木）～27日（金）、八女市星野村において「日本で最も美しい村」連合の定期総会が開催されました。連合に加盟している62町村のうち54町村の代表者が集まり、総会では2015年度の事業や決算の報告、2016年度の事業計画や予算の提案、議決等が行われました。総会後は戦略会議が開催され、「美しい村づくりを景観から考える」と題した基調講演とパネルディスカッションが行われ、学習を深めました。

また、会場では九州ブロック（九州の連合加盟町村で構成）が物販ブースを設置し、全国からの参加者にPRを兼ねた特産品販売を行いました。



▲九州ブロック物販ブース



▲総会の様子



▲東峰村も出店しました

よろしくお願ひします

■教育委員辞令交付

5月31日（火）、村長室において教育委員の辞令交付が行われました。教育委員長を務められた柳瀬 眞一やなせ しんいちさんが退任され、新たに鬼丸 祐輔おにまる ゆうすけさんが教育委員に就任されました。また、教育委員の伊藤 栄子いとう えいこさんが再任され、同日行われた臨時教育委員会において教育委員長に選任されました。



▲辞令を受け取る伊藤教育委員



「5月31日付で教育委員に任命されました鬼丸祐輔です。

世界情勢もめまぐるしく変化している現代。子どもを育て、教育する現場も大変な時代だと感じます。そんな中、東峰村の教育は思いやりが随所に感じられ、素晴らしいと思います。

私も東峰村を支える一人として頑張ります。よろしくお願ひ致します。」

もっと美しい東峰村を目指して

■東峰村労務班作業スタート

「美しい村づくり事業・林道維持管理事業」に係る労務班の作業が5月12日（木）から始まりました。労務班長と作業員5名（名簿に登録されている作業員は14名）の計6名の体制で、5月は林道の整備を行いました。今後は岩屋公園周辺やJR沿線の景観整備も進めていく予定です。



▲労務班（出発前 林業総合センター前にて）



▲林道の伐採作業の様子



▲作業前（ビフォー）



▲作業後（アフター）

雨にも負けず

■ほたる祭&ナイトホタルウォーキング

6月4日（土）、棚田親水公園において「第29回ほたる祭」が開催されました。終日、小雨が降るなかでの開催でしたが、村内外から来場があり、ホタルが飛び交う夜を楽しんでいました。

また、同日はJR九州主催の「ナイトホタルウォーキング」も開催され、151名の参加者が宝珠山駅から筑前岩屋駅までの約8kmのコースをほたる祭も堪能しながら歩いていました。



▲ステージイベント



▲出店の様子



▲ウォーキングの様子（於：千代丸）

人の動き

東峰村（平成28年5月末現在）前月比			あさくら地域（平成28年5月末現在）前月比		
人口	2,277	▲5	人口	86,799	▲38
男	1,044	▲4	男	41,072	▲10
女	1,233	▲1	女	45,727	▲28
世帯数	892	▲1	世帯数	32,604	40

保健師からのお知らせ



平成28年度 定期予防接種のご案内

平成28年度となり、一部の予防接種では定期予防接種の対象の生年月日が新たになりました。対象となる方は忘れないうちに接種を受けられますよう、ご案内いたします。

予防接種名	対象となる方		接種料金
	二種混合 (破傷風・ジフテリア)	平成16年4月2日～平成17年4月1日生の方	無料
	MR(麻しん・風しん) ワクチン2期	平成22年4月2日～平成23年4月1日生の方	無料
成人用肺炎球菌	<ul style="list-style-type: none"> 昭和26年4月2日～昭和27年4月1日生の方 昭和21年4月2日～昭和22年4月1日生の方 昭和16年4月2日～昭和17年4月1日生の方 昭和11年4月2日～昭和12年4月1日生の方 昭和6年4月2日～昭和7年4月1日生の方 大正15年4月2日～昭和2年4月1日生の方 大正10年4月2日～大正11年4月1日生の方 大正5年4月2日～大正6年4月1日生の方 	3,000円	
接種期間	平成28年6月～平成29年3月31日		
接種会場	福岡県内指定医療機関 詳細は、最寄りの医療機関へお問い合わせください。 ※成人用肺炎球菌ワクチンについては、日田市内医療機関の一部において接種が可能です。		
接種時に必要なもの	ご記入済みの予診票、母子健康手帳(高校生以下のみ)、保険証		

<日本脳炎ワクチンの接種について>

日本脳炎ワクチンは、他の予防接種に比べて接種の時期が遅く、忘れてることが多くありますので、ご注意ください。

予防接種名	対象となる方	
日本脳炎(通常分)	1期	生後6カ月～生後90カ月未満の方 3回
	2期	9歳～13歳未満の方 1回
日本脳炎(経過措置)	平成9年4月2日から平成19年4月1日までに生まれた方で、規定の回数を受けていない方のうち、20歳未満の方 (平成23年5月23日予防接種施行令改正に伴うもの)	

今回取り上げた以外の定期予防接種も随時接種を行っています。お忘れなようご注意ください。ご相談もお気軽にどうぞ!



■予防接種に関するお問合せ：東峰村役場小石原庁舎 保健福祉課 電話 74-2311

東峰 Jr. みらい塾～開講式と潮干狩り体験～



5月7日(土)、東峰 Jr. みらい塾は28年度の開講式と潮干狩り体験を行いました。開講式では塾長の伊藤公民館長と東峰学園の東野校長先生から「1年間の活動にたくさん参加をして、皆勤賞を目指しましょう」と挨拶していただきました。開講式の後、豊前市の八屋漁協へ潮干狩りに出発しました。昨年経験した児童は手馴れて貝を探していましたが、砂にまみれたアサリ貝を見分ける事が難しいようでした。ネットいっぱいの貝をおみやげに、楽しい1日を過ごす事が出来ました。大潮の日に合わせてご家族で潮干狩りはいかがでしょうか。



第1回女子みらい塾～開級式と手話講座～

5月11日(水)に、いずみ館ボランティア室で、平成28年度から始まった「女子みらい塾」の第1回開級式と手話講座が開催されました。手話は最近いろんなところで活用されるようになりました。今回の講座では、あいさつや会話などの初歩的な手話を学び、受講者も真剣なまなざしで取り組んでいました。このように、人と人が垣根なく、みんなと日常生活を共にすることができる社会づくりのきっかけとして、この講座が活用されれば幸いです。今後も、「女子みらい塾」では、家庭以外での人との触れ合いをとおして、女性同士のネットワークづくりや自己研鑽につながるような講座を実施していきたいと思えます。友だちづくりや自分磨きなど、参加理由は問いません。お気軽にご参加ください。お待ちしております!!

【あいさつ】皆さんも手話を覚えてみませんか!!

- ①グーは「おはよう」→顔のこめかみからグーの手をおろす
- ②チョキは「こんにちは」→額中央にチョキの手を当て12時を表す
- ③パーは「こんばんは」→両手を開き左右の手を顔の前で交差させる



第1回乳幼児学級開級式～開級式と防災講座～



5月13日(金)に第1回乳幼児学級開級式と防災講座を行いました。「各家庭で取り組む防災対策～災害に備えた備蓄について～」と題して、福岡県防災企画係の阿部さんを講師に迎え、乳幼児がいる家庭ではどのような取組をすればいいのか、阿部さんが実際に備蓄している非常食を見ながら話を聞きました。最近は色々な種類の非常食が出ていますが、いざ食べるとなると非常食を食べ慣れない子どもたちはなかなか食べてくれないそうです。各家庭で非常食を食べる日を年に一度でも作る事が防災対策に繋がるので皆さん是非実行してみてください。次回は6月23日(木)に「3B体操」を開催します。



次回予告



地域総合型スポーツクラブ

らぶすぽの活動	場所	日時	備考
ニュースポーツ教室	村民センター	6月27日(月) 19:30～	自由に参加できます。
健康体操『ヨガ教室』	いずみ館 多目的ホール	7月13日(水) 19:30～	会員500円 非会員1,000円 ※マットはこちらで準備します。



小学生集団宿泊事業『通学合宿』

5月15日(日)から5月20日(金)までの5泊6日間、東峰小学校の4・5・6年生の児童を対象に、喜楽来館において、小学生集団宿泊事業「通学合宿」が行われました。

日常の家庭生活とは違う環境で、共同生活や学習活動を行い、人間関係形成能力や規範意識を学ぶ意識を高めることを目的に、参加者49名を6班に分け、班活動を基本としながら、規則正しい生活を送りました。

1日目には開宿式の後、(有)カネダイさんのご協力で“みそづくり”を体験しました。夕食では、参加児童の親睦を深めるためレクリエーション協会さんのご協力で“ウェルカムパーティー”を実施し、みんなでバーベキューを楽しみました。夜には、これからの合宿期間中の「班と自分のめあて」を決めました。2日目には東峰小学校の先生に来て頂き“走れ！リニアモーターカー”というゲームを行い、3日目には“紙飛行機(ペーパークラフト)”を作って飛ばしました。4日目にはスポーツ推進委員さんのご協力で“スポーツ交流会”を、5日目には“調理実習”でカレー・サラダ・フルーツポンチを作りました。

期間中は、多くの村民の皆様のご協力で様々な体験活動をする事ができ、子どもたちにとって良い経験をする事ができました。これらの体験や5泊6日の生活を振り返り、最終日には、班ごとに参加者全員がそれぞれのめあてが達成できたかどうか発表をしました。

なお、合宿期間中の食事については地元産の食材を中心に作りました。その中でも特に、水は“平成の名水百選”に選ばれた東峰村の「岩屋湧水」を使用し、米はすいと一石原さんより頂いた米を使用しました。

子どもたちには、日常の生活から離れて、何でも自分たちで行った通学合宿の経験を、これからの生活や人生に自信を持って役立ててほしいと願っています。(※裏表紙に集合写真等を掲載しています。)



▲開宿式の様子



▲班の“めあて”決め



▲みそづくり体験



▲リニアモーターカーゲーム



▲紙飛行機飛ばし



▲スポーツ交流会



▲調理実習



▲通学の様子



▲最終日の発表の様子





岩間隊員

5月18日～20日の三日間、「地域おこし協力隊初任者研修」に参加しました。

全国から100人以上の隊員が参加する研修会…見知らぬ人がたくさんいて、とても緊張しました。しかも、福岡県から来ている人が私一人しかいませんでした。この状況で、全国の人たちと話ができるのかとても心配でした。

この研修会では地域おこし協力隊の活動事例講演やワークショップ、交流会などがありました。特にワークショップは自分の考え方、行動を見直すきっかけになりました。

ワークショップは自分が考えていることと相手の考えていることはもちろん違うし、出し合った意見をどうまとめ、わかりやすく発表するか。夜、朝とメンバーで悩みました。いままで他の人の意見を聞かず一人で行動することが多く、迷惑をかけたこともありましたが、この研修会では改めてグループの意見の重要さに気付くことができました。これからも東峰村の中で活動を再開しますが、この研修で学んだこと、気付いたことを生かせるようにがんばっていきます！



▲お世話になったメンバー



▲意見を出し合って模造紙にまとめました。



清水隊員

ただ今、畑に集中して活動しています。出荷支援会員の方々へ販売するための家庭野菜苗や農協に出荷するためのコショウを栽培しています。家庭野菜苗を購入してくれた会員様からは、「土が少なく根が張っていない」「苗にしては大きすぎる」などアドバイスをいただきました。

一つ一つ手さぐりで日々勉強です。次回は満足していただける苗を栽培したいと思います。余った苗は自分で育て村の外に出荷し、東峰村産の野菜をより多くの方に広めていきます。



▲苗販売時の様子



▲販売した苗を早速植え付けてくれました

コショウ苗は順調に育っています。枯らさないように慎重に栽培を続けています(^ ^)

育苗を始めて休みの日も朝の水やりは欠かせません。一度タイミングが遅れたため、ネギ苗が枯れることがありました。ひと時も気が抜けず、農業の大変さを痛感していますが、その分育っている様子を見るとやりがいを感じます。任期終了後、農業で収入を得られるよう試行錯誤を続け、頑張ります。